

救急搬送の現状について

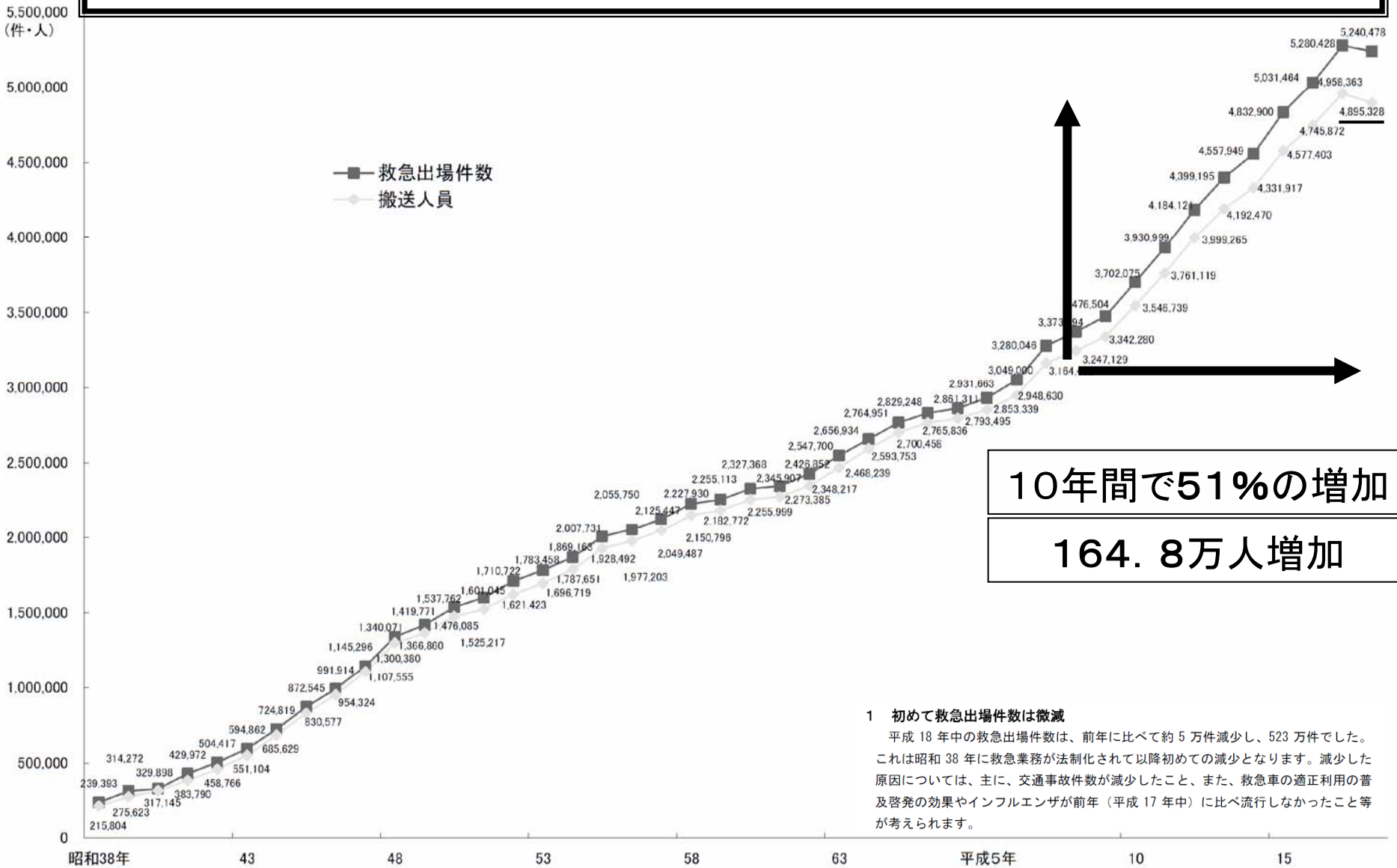
救急搬送の現状について

- 年間救急搬送人員数 4、895、328人

- 人口1万人あたり(全国) 383件数(出場件数)
 - ・ 大阪府 565.6件
 - ・ 福井県 285.5件

- 一日あたり搬送人員数 13、411人
 - ・ 東京都 1、738人
 - ・ 鳥取県 57人
 - ・ 平均(単純に47で割り算したもの) 285人

救急出場件数及び搬送人員の推移

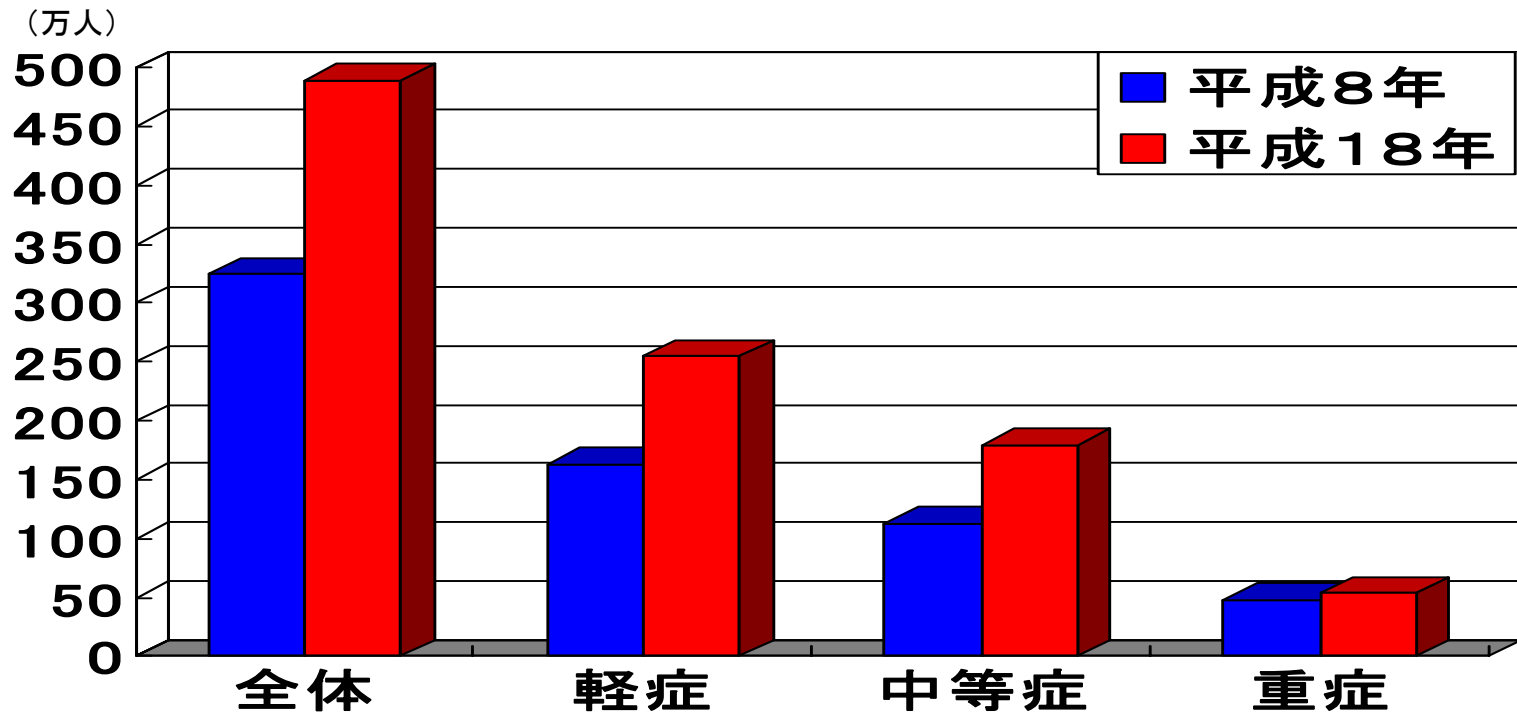


10年間で51%の増加
164.8万人増加

1 初めて救急出場件数は微減
平成18年中の救急出場件数は、前年に比べて約5万件減少し、523万件でした。これは昭和38年に救急業務が法制化されて以降初めての減少となります。減少した原因については、主に、交通事故件数が減少したこと、また、救急車の適正利用の普及啓発の効果やインフルエンザが前年（平成17年中）に比べ流行しなかったこと等が考えられます。

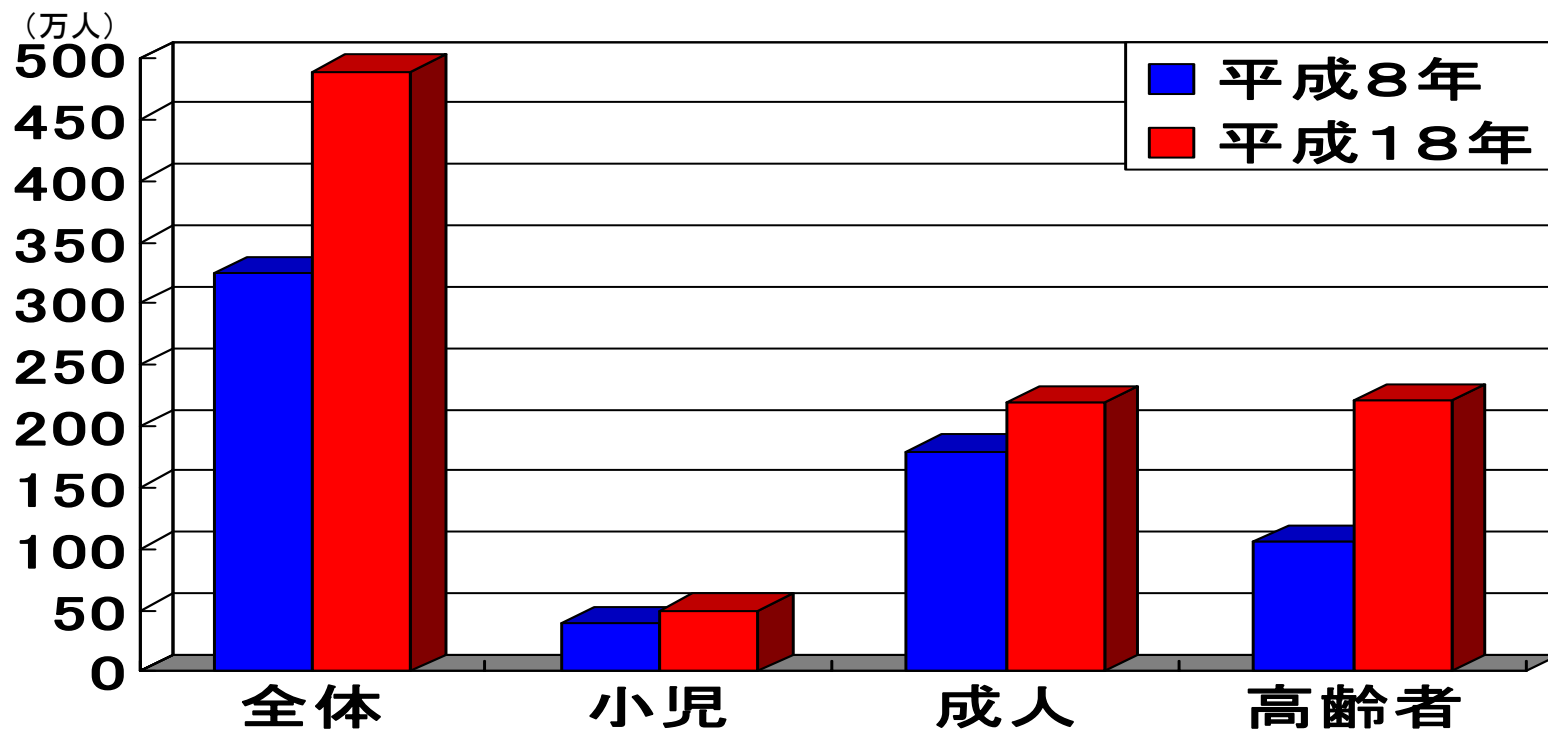
(注) 1 平成10年以降の救急出場件数及び搬送人員についてはヘリコプター出場分を含む。
2 各年とも1月から12月までの数値である。

10年間の救急搬送人員の変化(重症度別)



	全体	軽症	中等症	重症 (死亡も含む)
平成8年	324.7万人	162.8万人	113.4万人	48万人
↓	164.8万人増 (+51%)	91.8万人増 (+56%)	66.5万人増 (+59%)	6.1万人増 (+13%)
平成18年	489.5万人	254.6万人	179.9万人	54.1万人

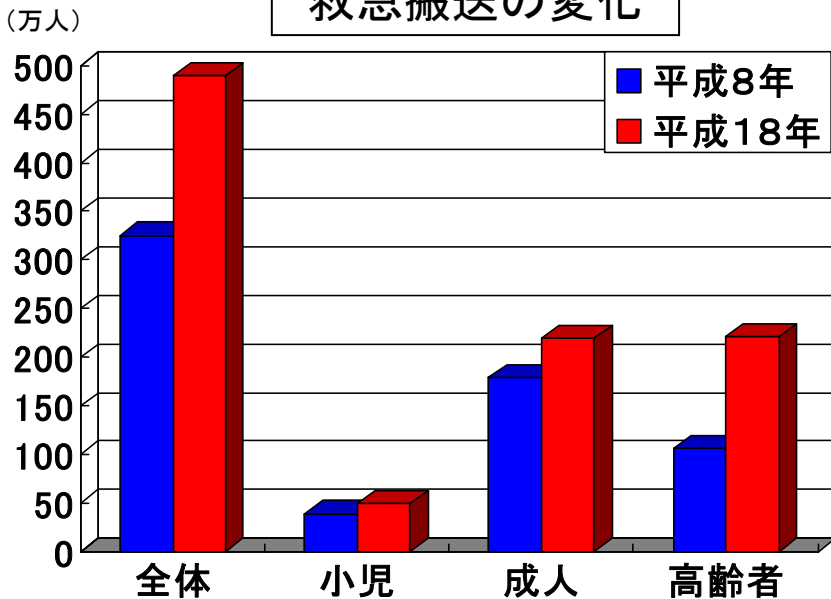
10年間の救急搬送人員の変化(年齢別)



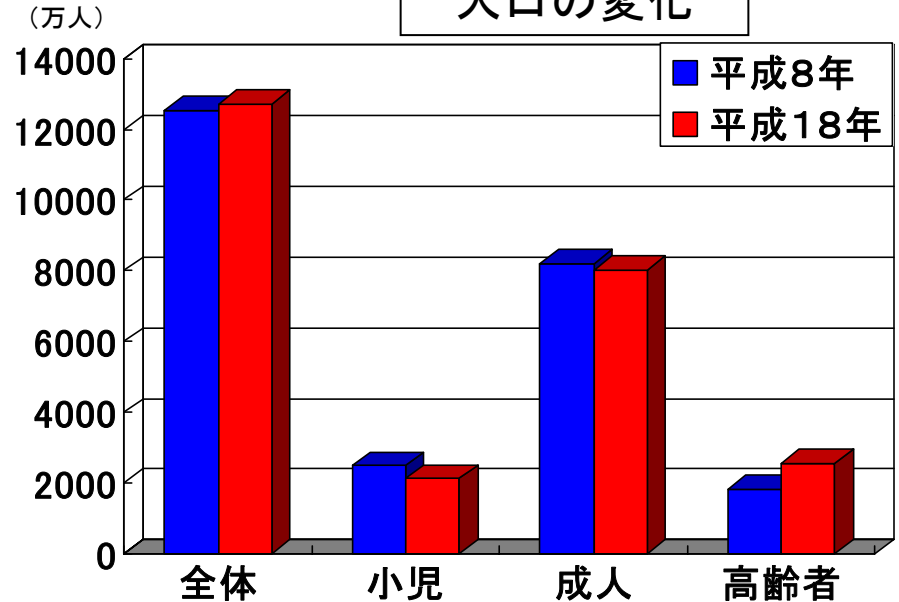
	全体	小児 (18歳未満)	成人 (18歳～64歳)	高齢者 (65歳以上)
平成8年	324.7万人	39.3万人	179.1万人	105.9万人
↓	164.8万人増 (+51%)	10.1万人増 (+26%)	40万人増 (+22%)	114.8万人増 (+108%)
平成18年	489.5万人	49.4万人	219.1万人	220.7万人

10年間の救急搬送人員の変化(年齢別・人口変化との比較)

救急搬送の変化



人口の変化



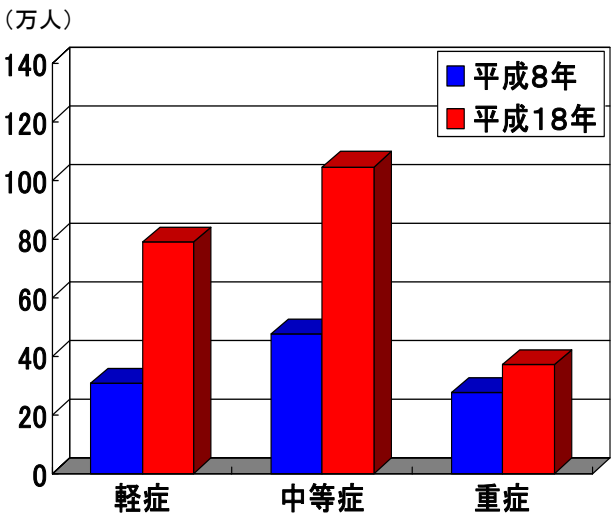
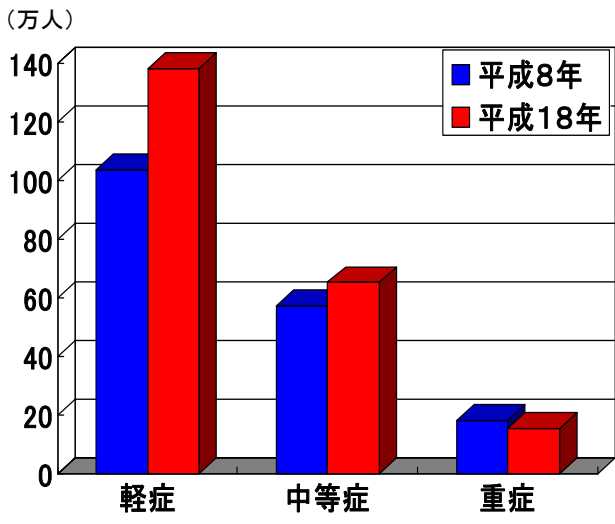
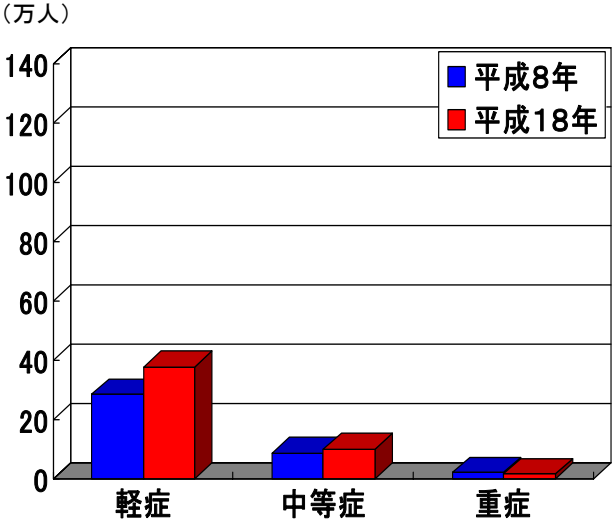
	小児 (18歳未満)		成人 (18歳～64歳)		高齢者 (65歳以上)	
	平成8年	39.3万人	2496万人	179.1万人	8221万人	105.9万人
↓	10.1万人増 (+26%)	362万人減 (-15%)	40万人増 (+22%)	194万人減 (-2%)	114.8万人増 (+108%)	741万人増 (+40%)
平成18年	49.4万人	2134万人	219.1万人	8027万人	220.7万人	2567万人

10年間の救急搬送人員の変化(年齢・重症度別)

小児

成人

高齢者



平成8年中

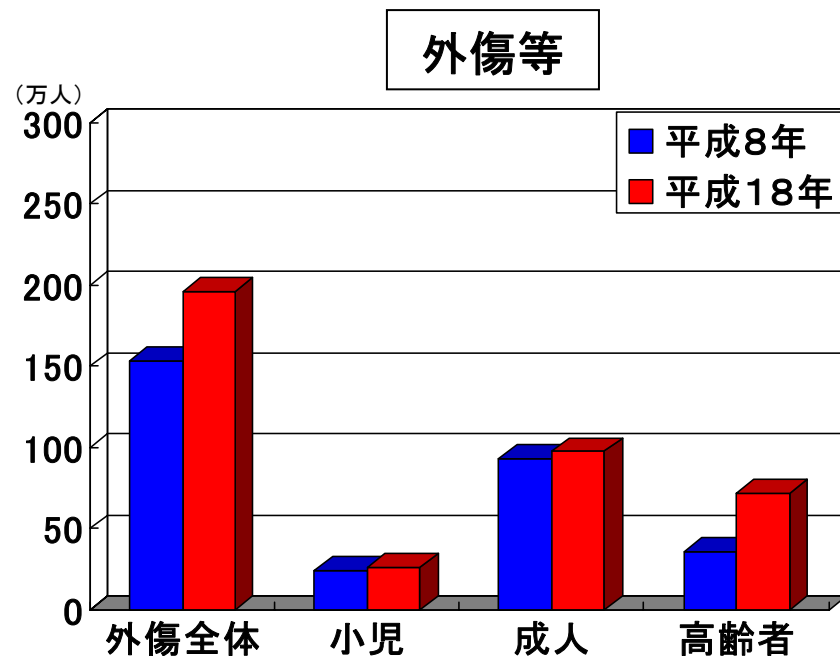
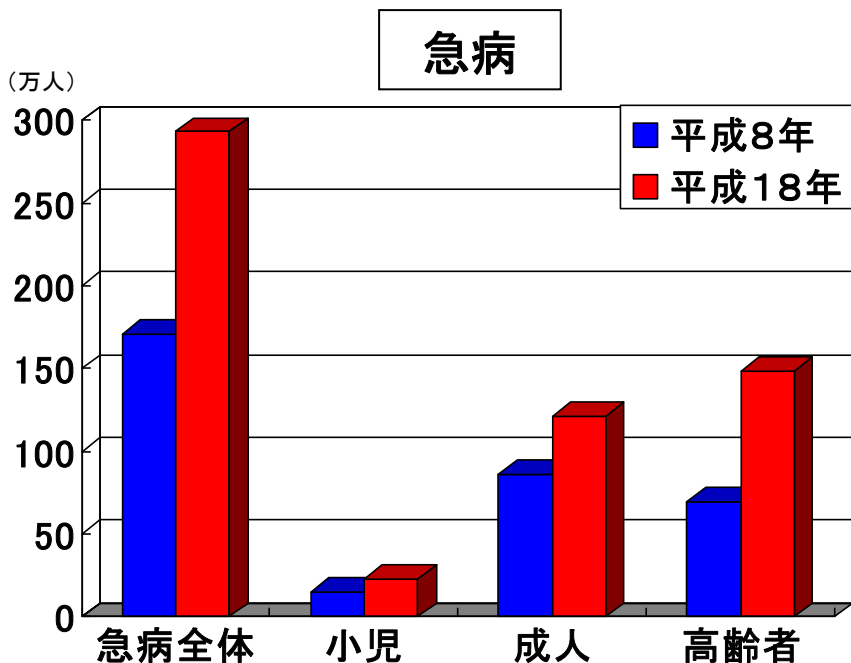
	小児	成人	高齢者
全体			
重症	2.2万人	18.3万人	27.5万人
中等症	8.7万人	57.2万人	47.6万人
軽症	28.4万人	103.6万人	30.8万人

平成18年中

	小児 (18歳未満)	成人 (18歳～64歳)	高齢者 (65歳以上)
重症	1.6万人 0.6万人減 -27%	15.5万人 2.8万人減 -15%	37.2万人 9.7万人増 +35%
中等症	10.2万人 1.7万人増 +19%	65.2万人 8.0万人増 +14%	104.4万人 56.8万人増 +119%
軽症	37.8万人 9.4万人増 +33%	138.1万人 34.5万人増 +33%	78.8万人 48.0万人 +156%

「救急・救助の現況」(総務省消防庁)のデータを基に分析したもの

10年間の救急搬送人員の変化(年齢・病傷別)



平成8年中

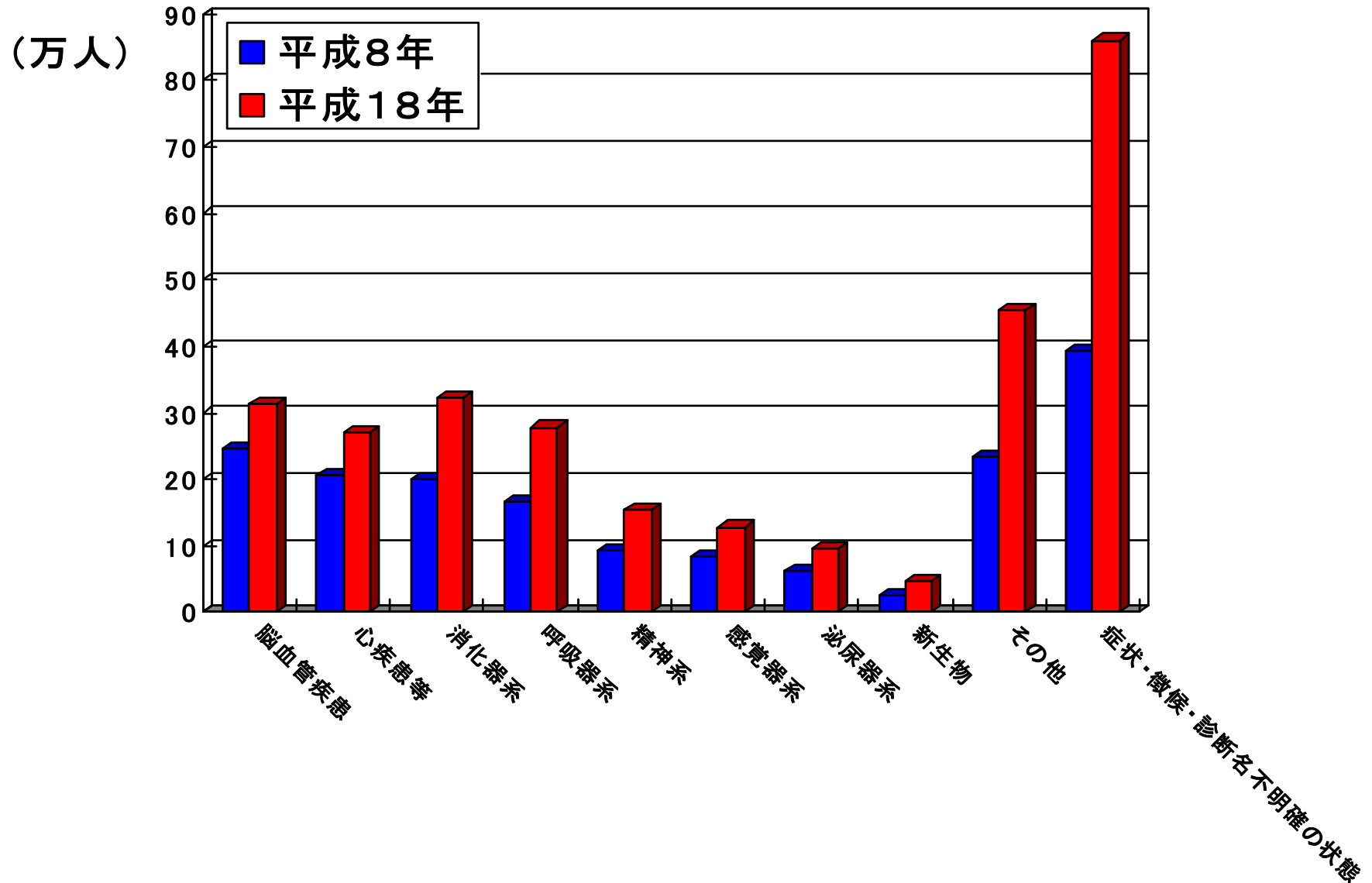
	全体	小児	成人	高齢者
急病	171.2万人	15.1万人	86.1万人	70.0万人
外傷等	153.5万人	24.3万人	93.2万人	35.9万人



平成18年中

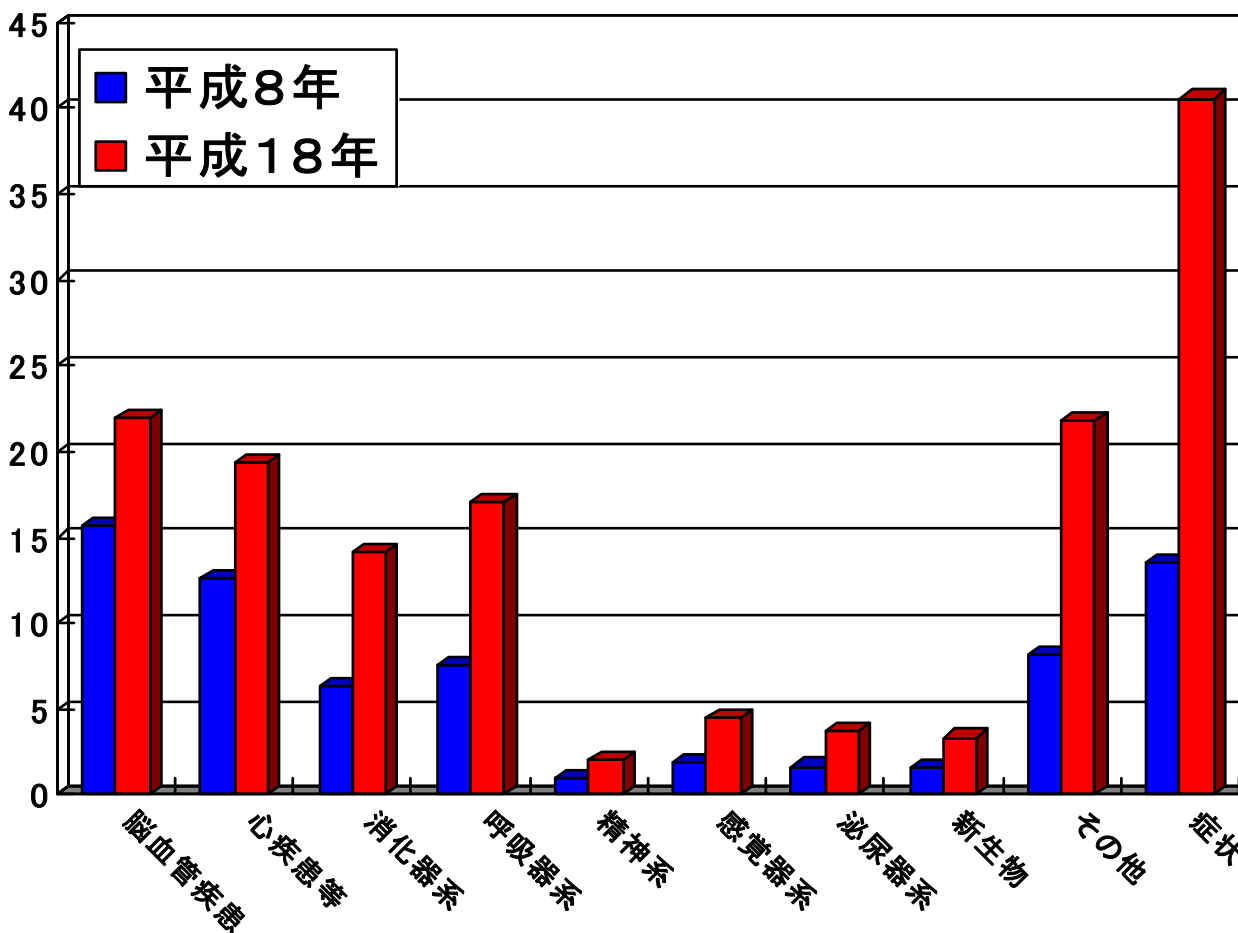
	全体	小児 (18歳未満)	成人 (18歳～64歳)	高齢者 (65歳以上)
急病	293.0万人 121.8万人増 +71%	23.0万人 7.9万人増 +52%	121.6万人 35.5万人増 +41%	148.5万人 78.5万人増 +112%
外傷等	196.2万人 42.7万人増 +28%	26.4万人 2.1万人増 +9%	97.6万人 4.4万人増 +5%	72.2万人 36.3万人増 +101%

10年間の救急搬送人員の変化(急病・疾患別)



高齢者における10年間の救急搬送人員の変化(急病・疾患別)

(万人)



症状・徴候・診断名不明確の状態

重症傷病者における10年間の救急搬送人員の変化(急病・疾患別)

(万人)

